

2013年3月期 通期決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社

2013年5月9日

代表取締役社長 鶴丸 哲哉

エグゼクティブサマリー

I. 2013年3月期 通期 決算概要

- 通期の半導体売上高は、世界的な市況停滞の継続などにより、前期比で7.8%減の7,247億円
- 通期の営業損益は、研究開発費の効率化、販売費及び一般管理費の削減などの費用削減策を実行したものの、売上減による利益減をカバーするまでには至らず、赤字を計上
- 第4四半期は、半導体売上高が前四半期比で33億円の減少となったものの、営業損益は黒字に転換し、改善傾向。下期累計でも営業損益は黒字化を達成

II. 構造改革の進捗状況

- 成長戦略の実行に向けた人員構成の最適化などの更なる合理化施策の実施について、労使協議を経て、3月28日に取締役会にて決議
- 国内後工程3工場の売却について、3月19日に最終合意するなど、生産構造改革は着実に進展

I. 2013年3月期 通期 決算概要

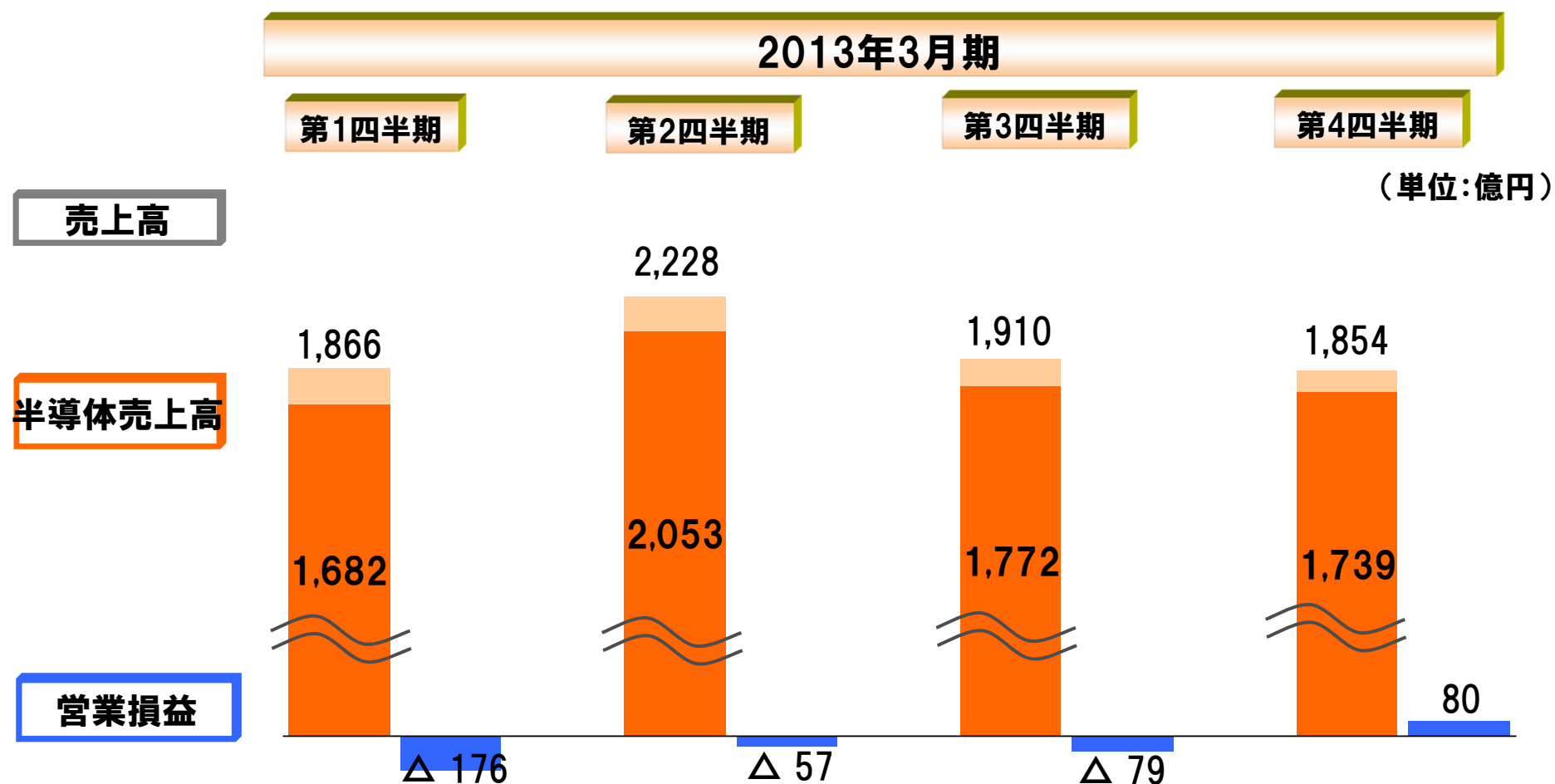
2013年3月期 通期 決算概要

- 通期の半導体売上高は、世界的な市況停滞の継続などにより、前期比で7.8%減の7,247億円
- 通期の営業損益は、研究開発費の効率化、販売費及び一般管理費の削減などの費用削減策を実行したものの、売上減による利益減をカバーするまでには至らず、赤字を計上
- 第4四半期は、前四半期比売上減なるも固定費削減効果などにより営業損益・経常損益とも黒字化達成。営業損益は、下期累計でも黒字化を達成

2013年3月期						
(単位:億円)	第4四半期	前四半期比	下期	前回予想比	通期	前期比
売上高	1,854	△56	3,764	+158	7,858	△973
半導体売上高	1,739	△33	3,511	+137	7,247	△614
営業損益	80	+160	1	+28	△232	+335
経常損益	87	+198	△24	+71	△269	+344
当期純損益	△59	+408	△525	+84	△1,676	△1,050
1US\$=	89円	10円 円安	84円	1円 円安	82円	3円 円安
1ユーロ=	118円	15円 円安	110円	1円 円安	106円	3円 円高

2013年3月期 四半期業績推移

- 第4四半期は、半導体売上高が前四半期比で33億円の減少となったものの、営業損益は黒字に転換

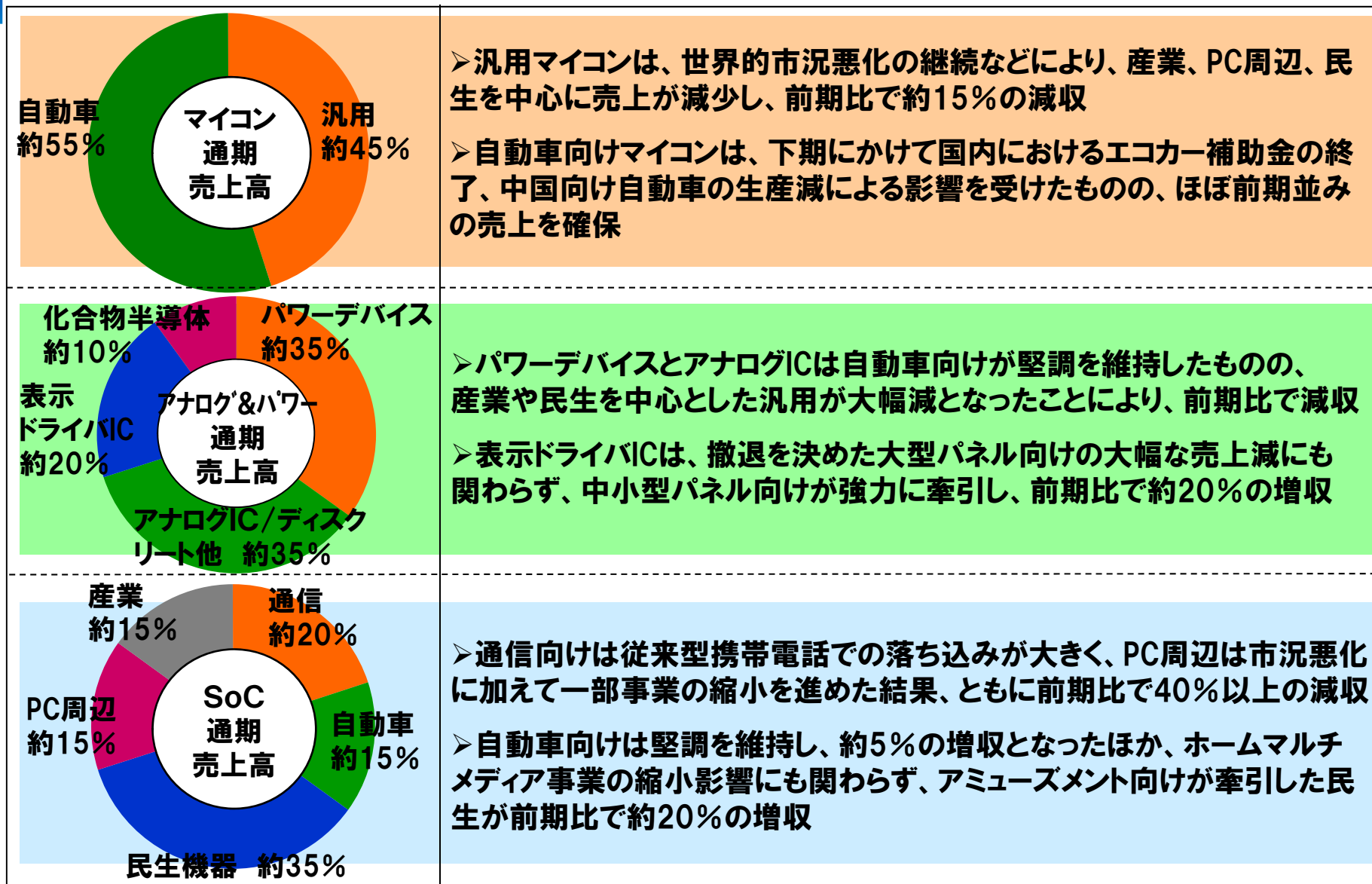


2013年3月期 半導体売上高の事業別状況①

- 通期の半導体売上高は、自動車向けは堅調を維持したほか、大型カスタム案件が大きく牽引したものの、それ以外の汎用が弱含みで前期比7.8%減少
- 第4四半期の半導体売上高は、為替影響による改善約110億円があったものの、第3四半期まで牽引していた大型カスタム案件の減速もあり、前四半期比1.8%の減少

2013年3月期				
(単位:億円)	第4四半期	前四半期比 (%)	通期	前期比 (%)
半導体売上高 計	1,739	△1.8%	7,247	△7.8%
マイコン	776	+9.0%	3,052	△9.3%
アナログ&パワー 半導体(A&P)	546	△5.5%	2,352	△3.5%
SoC	391	△13.4%	1,735	△13.7%
その他半導体	27		108	

2013年3月期 半導体売上高の事業別状況②



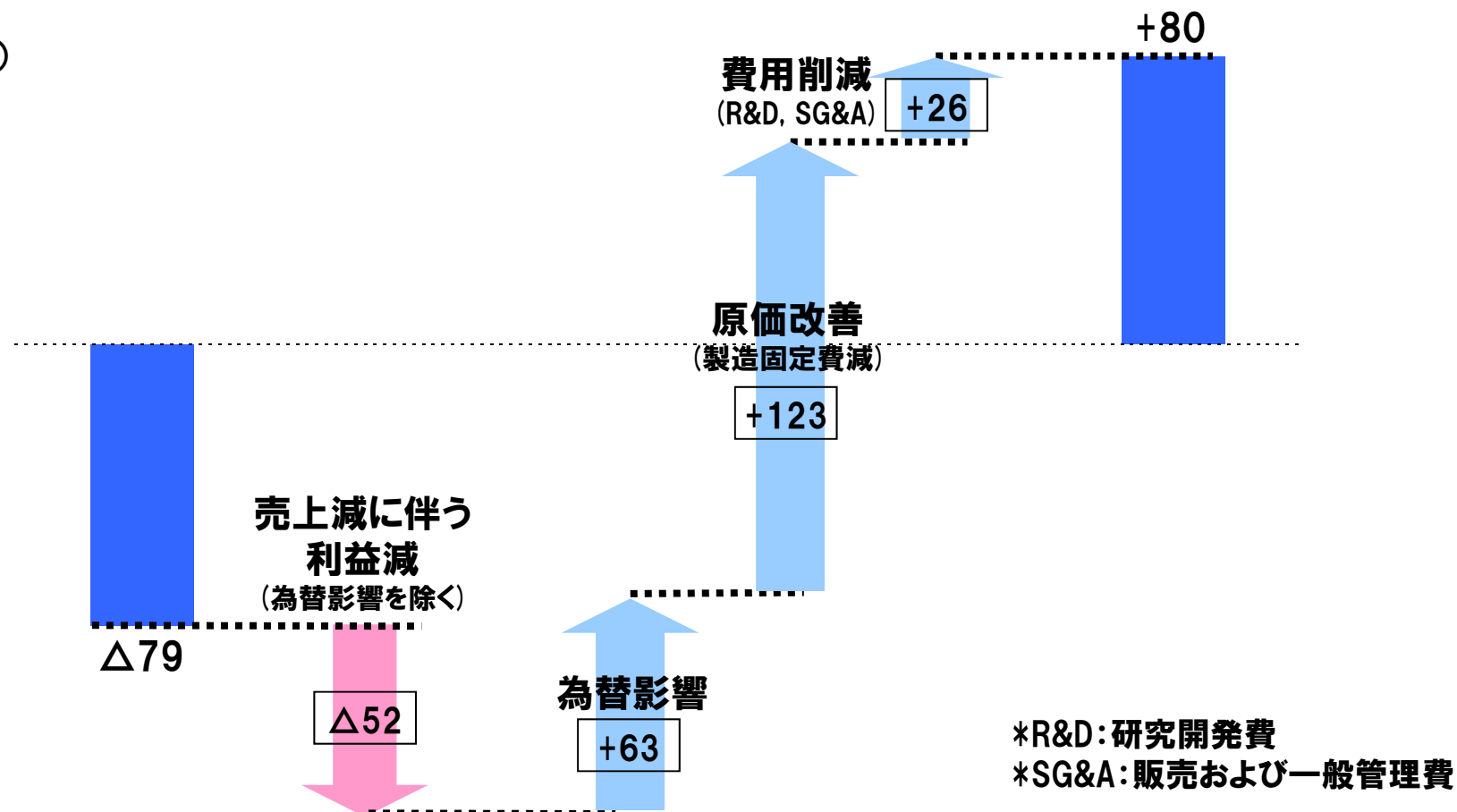
2013年3月期 第4四半期営業損益（前四半期比）

- 売上減に伴う利益減があったものの、製造固定費などの原価改善や為替影響などにより、前四半期比で160億円改善し、80億円の黒字化

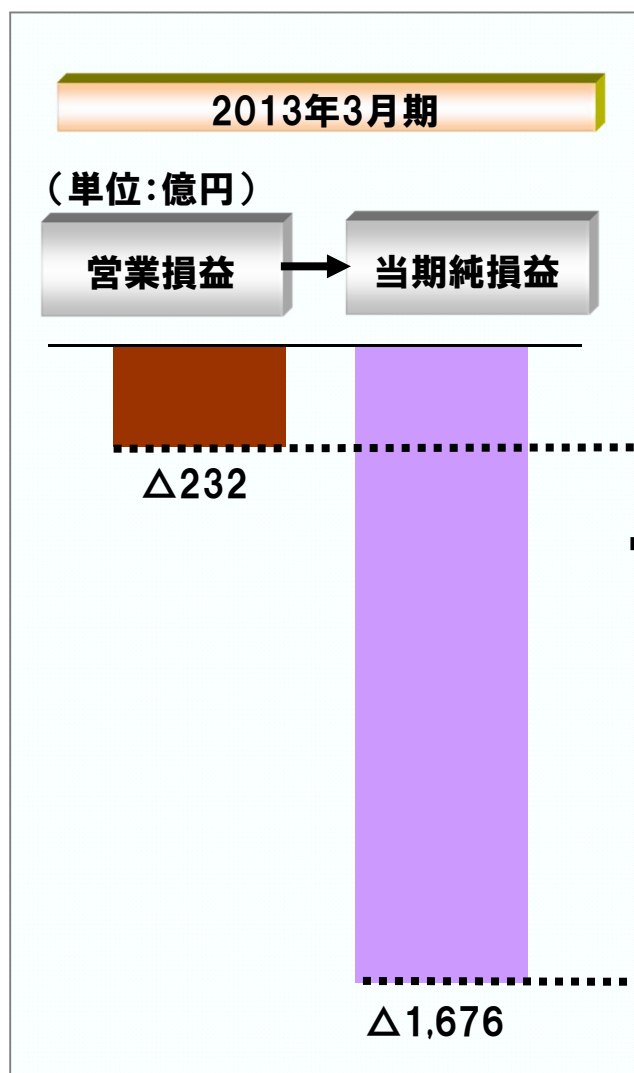
2013年3月期
第3四半期

2013年3月期
第4四半期

（単位：億円）



2013年3月期 当期純損益の状況



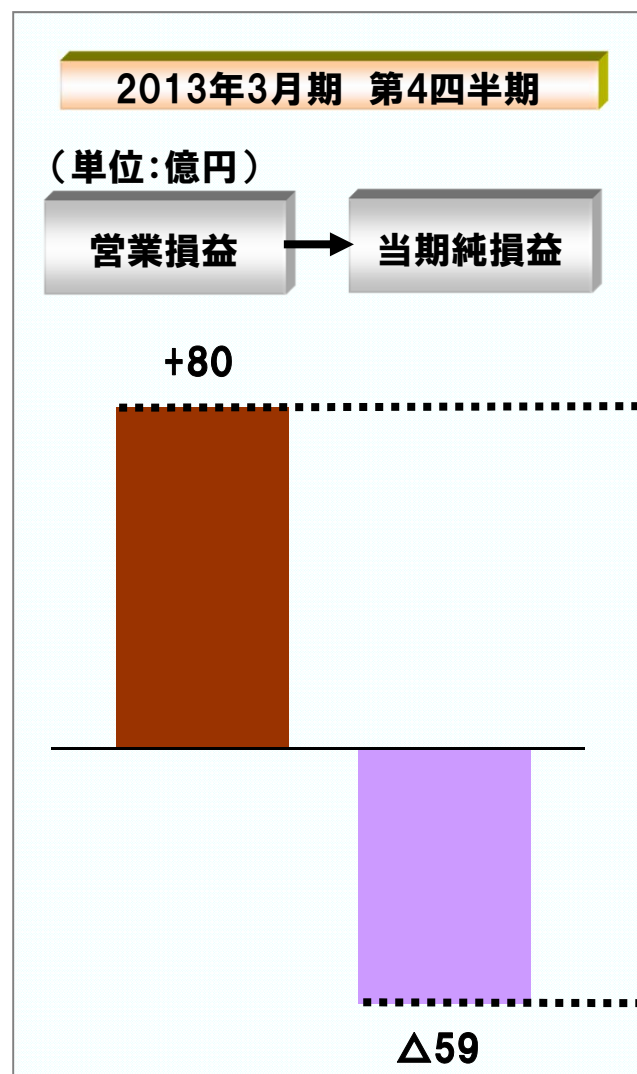
■ 早期退職優遇制度、事業・生産構造改革の実行などにより、1,339億円の特別損失を計上し、当期純損益は1,676億円の赤字

<特別損失 (1,339億円) の主な内訳>

国内の早期退職優遇制度に係る費用 (約840億円)
事業・生産構造改革に係る費用 (約360億円)
その他 (約140億円)

法人税等、少数株主損益
△98億円

2013年3月期 第4四半期 純損益の状況



■ 営業損益は黒字転換したものの、事業・生産構造改革の実行などにより、105億円の特別損失を計上し、当期純損益は59億円の赤字

営業外損益
+7億円

特別損益
△101億円

＜特別損失(△105億円)の主な内訳＞
事業・生産構造改革に係る費用(約85億円)
その他(約20億円)

法人税等、少数株主損益
△45億円

バランスシートの状況

(単位:億円)	12/4期首	12/12末	13/3末
総資産	8,582	7,167	6,691
うち 現金及び現金同等物	1,319	951	777
うち たな卸資産	1,518	1,493	1,513
負債合計	6,317	6,433	5,912
うち 有利子負債	2,583	3,162	3,064
株主資本	2,434	817	758
純資産合計	2,265	734	779
D/Eレシオ(グロス)	1.19倍	5.00倍	4.59倍
D/Eレシオ(ネット)	0.58倍	3.50倍	3.43倍
自己資本比率	25.4%	8.8%	10.0%

(注)①現金及び現金同等物:「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」を控除しております。

②有利子負債:「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「リース債務」、「長期借入金」

③自己資本:「株主資本」、「その他の包括利益累計額」 ④D/Eレシオ(グロス):有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況

- 早期退職優遇制度の実施に係る一時金支払いなどにより、通期のフリー・キャッシュ・フローは973億円の赤字
- 第4四半期も一時金支払が発生したが、営業キャッシュ・フローは黒字を回復

2013年3月期					
(単位：億円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
営業活動による キャッシュ・フロー	△181	46	△475	69	△541
投資活動による キャッシュ・フロー	△107	△98	△61	△166	△432
フリー・ キャッシュ・フロー	△287	△52	△536	△97	△973

II. 構造改革の進捗状況

1. 組織・人員に係る効率化施策

目的

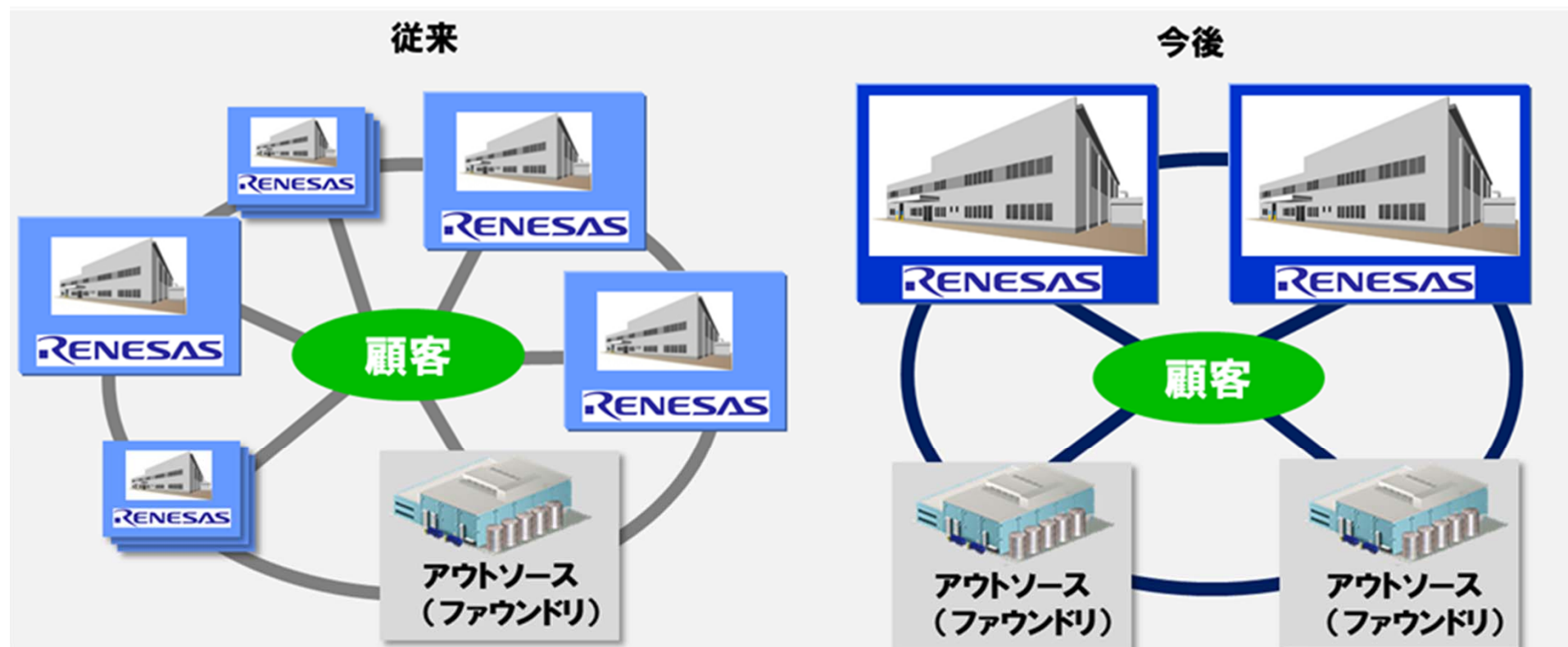
- ✓ 意思決定の迅速化、業務の適正化・効率化
- ✓ 成長戦略に沿った設計・開発、製造、販売体制の再構築
- ✓ 費用構造の改善による収益基盤の更なる強化

- ✓ 7本部体制から4本部体制へ組織をスリム化
- ✓ 執行役員を16名から8名へ半減し意思決定を迅速化
- ✓ 40歳以上の総合職等の人的効率化

2. 生産体制の再編①: 安定供給の継続に向けた対策

■ 生産再編に伴うファブネットワーク

- ✓ ファウンドリを含むファブネットワークをより選択的かつ確実に構築し、生産構造対策実行後も既存製品の継続的な安定供給体制を確保



ファブネットワークの再編により効率的に安定供給を継続

2. 生産体制の再編②:生産構造改革の進捗状況

- 2012年7月3日に生産構造改革を公表後、後工程1拠点の譲渡完了に続き新たに後工程3拠点の譲渡を決定し、生産構造改革は計画どおり進捗

	方針	現在の国内 拠点数/ライン数	構造改革後の国内 拠点数/ライン数
前工程	✓ 大口径・微細化 ✓ 先端製品のアウトソース化 ✓ 特殊製品の自社生産継続	9拠点 14ライン	7拠点 9ライン
後工程	✓ 海外生産シフトの加速 ✓ 国内外のサブコン活用強化	8拠点 →5拠点 (13年6月予定)	2拠点

■13年1月1日 譲渡完了

- ✓ ルネサスハイコンポーネンツ(青森工場)*1をアオイ電子*2に譲渡完了

■13年3月19日 譲渡最終契約締結

- ✓ ルネサス北日本セミコンダクタの函館工場*3、ルネサス関西セミコンダクタの福井工場*4、ルネサス九州セミコンダクタの熊本工場*5を13年6月上旬にジェイデバイス*6に譲渡予定

*1:株式会社ルネサスハイコンポーネンツ(青森県北津軽郡鶴田町)

*2:アオイ電子株式会社(香川県高松市)

*3:株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ 函館工場(北海道七飯町)

*4:ルネサス関西セミコンダクタ株式会社 福井工場(福井県坂井市)

*5:株式会社ルネサス九州セミコンダクタ 熊本工場(熊本県大津町)

*6:株式会社ジェイデバイス(大分県臼杵市)

2014年3月期 業績見通しについて

- 当社は、2013年2月22日開催の臨時株主総会において承認された第三者割当増資による(株)産業革新機構および事業会社8社からの出資を控えており、中期展望を含む業績予想を策定中であることから、現時点において2014年3月期の連結業績予想を開示していません。
- 当該出資が完了した後、業績予想の開示が可能となった時点で、適時に公表いたします。



ルネサス エレクトロニクス株式会社

© 2013 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.